

～ 中津のふくし応援誌 ～

社協だよりなかつ

発行：中津市社会福祉協議会

2017
June 6

**アナタは、
「助けて！」と言えますか？**



**地域福祉講座
「支え合い」を「ホンモノの支え・合い」へ**

表紙：地域福祉講座

記事は最終ページにあります。

新たな地域の拠点

中津市養護老人ホーム豊寿園

暮らしの中での困りごと

くらしの総合相談窓口が開設しました

夏の新たな出会い

“さんぽ” “夏ボウ” 始まります

ステキなちいきつと

如水・地域サロンめじろの家

養護老人ホーム中津市豊寿園



新施設スタート!!

2017年6月 第68号

就任ご挨拶



中津市社会福祉協議会

会長 松下 太

この度、本年四月二日の理事会において、前北山会長の後任として新たに選任頂き、会長に就任いたしました。会長という重責に身の引き締まる思いでございますが、誠心誠意、全力で取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

現在、地域における課題は、少子高齢化、孤立化、生活困窮者支援、買い物支援、移動支援、集落機能の低下など、多くの問題があります。

誰もが安心して暮らせる福祉の地域づくりを目指し、地域住民の皆様や関係機関との連携を密にしながら、役職員と共に、地域福祉の更なる推進に取り組んで参る所存です。

皆様方のご支援とご協力をお願いし申し上げ、就任のご挨拶といたします。

退任ご挨拶



中津市社会福祉協議会

前会長 北山 一彦

皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年三月三十一日をもちまして、会長の職を退任いたしました。

在任中の三年間、「住んで良かった、住んでみたい福祉のまち」を目指し、地域住民の皆様の視点に立った事業活動を進めて参りました。また、地域住民の皆様や理事、評議員、関係機関、団体の方々に支えて頂きましたこと、心より感謝とお礼を申し上げます。

地域における福祉の課題が多様化する中、地域福祉を推進する社会福祉協議会の役割は、今後益々重要になってきており、やるべき事も山積している状況ですが、松下新会長のもとに益々社会福祉協議会が発展していくことを心よりお祈りし、退任のご挨拶といたします。

～ 養護老人ホーム中津市豊寿園閉園式・竣工式が開催されました ～

閉 園 式

4月 22 日、地域の自治会、民生委員さん、日頃より豊寿園に慰問やクラブ活動などでご協力いただいているボランティアの皆さん関係者一同に出席いただき閉園式を行いました。

養護老人ホーム中津市豊寿園は老朽化（築 37 年）に伴い、中津市において施設の建て替えが行われました。平成 26 年より中津市より中津市社会福祉協議会に施設運営が移行し、多くの関係者や地域の皆様のご協力を頂き、現在の中津市豊寿園があります。そんなひとつの歴史に幕を閉じ、新施設での新たな歴史のスタートの節目にと、中津市と社会福祉協議会との共催により行いました。



竣 工 式



4月 28 日、青天の下、養護老人ホーム中津市豊寿園竣工式が開催されました。当日は中津市において、施設が無事に竣工したことの披露がなされ、奥塚市長より「全国共通の課題である少子高齢化が今後ますます進む中で、環境的・経済的に困難を抱える方の養護は社会に求められていることであり、市として、「安心づくり」・「住みよいまちづくり」を実現させていく上でも、このようなニーズへのサービスの提供は不可欠なことです。今後も、高齢者福祉をは

じめ、中津市の安心・元気・未来をつくっていく中でみなさま方のご協力が必要となると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。」とご挨拶がありました。

養護老人ホーム中津市豊寿園 5月13日より新施設スタート！



定 員：60名
住 所：中津市大字永添 2606 番地 20
電話番号：0979-64-8112
構 造：木造一部RC一部鉄骨造平屋建て
敷地面積：10,5750.09 ㎡
床 面 積：3,737.63 ㎡
居室面積：20.9 ㎡

地 域 福 祉 情 報

平成28年度 寄り合いの場交流研修会を開催

今回は本耶馬溪会場、中津会場の2会場で開催し、本耶馬溪会場では70名、中津会場では42名の総勢112名の方々にご参加いただきました。参加者はサロンを運営している方だけでなく民生委員会や婦人会など幅広い団体の方で、各会場とも和やかな雰囲気の中、まるでひとつのサロンをしているかのようでした。

内容はやまびこ隊による「サロンで使えるレクリエーション」に始まり、その後はmottoひょうごの栗木 剛先生の「楽しいコミュニケーション術」と題したお話を、参加者同士の話し合いを交えて楽しく分かり易くしていただきました。参加者のみなさんからは、「他のサロンの方と気軽に話が出来て良かった。」「やまびこ隊のボール体操や二フトリ体操をサロンでも使いたい。」「今後、活動をする上で参考になった。」などの声が聞かれました。



やまびこ隊による、ボールを使ったレクリエーション実践



グループでの情報交換



軽快な関西弁で聞く人を引き込む「舌耕家」栗木先生

「老い支度」をテーマに 市民後見推進研修会を開催

3月に耶馬溪公民館にて市民後見推進研修会を開催しました。今回は、「知って得する! 老い支度」相続・遺言、老後のお金について」をテーマに、延べ約200名の方が参加されました。

講師に大分県金融広報委員会 金融広報アドバイザーの矢野 英昭さんをお招きし、相続・遺言の仕組みや老後のお金についてご講演いただきました。ユーモアを交えた説明の中で、「遺族が迷わないために生前に伝えておくべきこと」の話もあり、参加者の方々は熱心に耳を傾けていました。

中津市社協では、身近な老後の問題などを通して、成年後見制度や市民後見人について普及啓発を目的として研修会を行っています。



金融広報アドバイザーの矢野先生



質問もたくさん出ました



研修会の様子

今年度は、8月と2月に『悪徳商法』をテーマとして研修会の開催を予定しています。

地 域 福 祉 情 報

大 幅

第5回大幡地区 地域福祉研修会

「地域のみんなで作る 住みよい町 大幡」。このテーマのもと3月7日、大幡コミュニティセンターで、地域福祉研修会が開催されました。地域のつながり作りに尽力している住民組織、ネットワーク協議会「大幡福祉の会」が主催し、毎年開催している研修です。

今回は中津市と中津市社会福祉協議会より「第3次中津市地域福祉計画、中津市地域福祉活動計画」についてお話ししました。その上で「輪」から過去5年間の活動内容のお話がありました。参加者の方々は熱心に「輪」の活動や計画の話に聞き入っており、地域づくりに協力していきたいという意見も出されました。活動計画は住民のみなさんの意見を土台とし、どうやって地域づくりを進めていくかをまとめているものです。その一環として「輪」が活動していることを同じ大幡住民の方々に伝えることで「地域はみんなで作るんだ」という意識をより深められる機会となっています。

住民が主体となって行われている研修会だからこそ、住民の立場から地域の皆さんにお伝えしたいことをリアルタイムに発信できるのではないのでしょうか。



会長のあいさつ



会場のようす

本耶馬溪

住民型有償サービス「本耶馬溪ひまわりサービス」発会しました

平成29年5月15日、本耶馬溪公民館にて住民型有償サービス「本耶馬溪ひまわりサービス」の発会式が行われました。この日を迎えるまで、約1年間座談会や準備会で話し合いを重ねてきました。また、昨年度市内15校区で行われた「第3次地域福祉活動計画」の作業部会の中で、「本耶馬溪町には、住民型有償サービスが必要だ」との声が上がったことも追い風となり、発会まで進むことができました。発会式当日は、関係者を含め約50名の方に出席していただき、中津市社会福祉協議会・松下太会長と本耶馬溪支

所・屋形義晴課長より来賓祝辞を、またスタッフ代表として屋形地区マネージャー・高時敬子さんより決意表明がありました。

準備会メンバーは「これからが本腰の入れどき!!」と、今後の活動に意欲を見せていました。ひまわりサービスは地域で共に支え合い、ひまわりのように明るい町を目指していきます。



決意を新たに

耶馬溪

柿坂サロン「なごみ」開設式

4月15日、柿坂地区の寄り合いの場として柿坂サロン「なごみ」が開設されました。

皆が明るく楽しく元気に暮らして欲しいという思いで、地区の皆さんが何度も話し合いを重ね準備を進めてきました。

開設式の後に記念撮影、その後レクリエーションにて大笑いが起き、賑やかな会となりました。

「いついつのを待っていた、こうやって会えることが嬉しいー」という言葉が多く聞かれ、皆さん待ちわびていた



笑顔あふれる時間をみんなで



みんなで記念撮影

様子でした。みんなで作って、作っていくことが地域のつながりになっていることを実感したサロンでした。

平成29年度事業計画【主な内容】

【事業方針】

中津市社会福祉協議会では、福祉の里づくりを基本とした「暮らし続けたいと思う、思える地域づくり」を目指して、地域の課題や生活課題に向き合い、住民主体の地域福祉を推進するため、住民の活動を支援する他機関との協働による事業の推進を図っていきます。

【基本目標】

I 総合的な相談支援体制をつくります

A 多様なケースに対応できる総合的な相談支援体制づくり

- (1) 個別の生活課題に対応できる専門相談窓口の設置
 - ① 多様なケースに対応するワンストップ窓口の設置
- (2) 相談関係事業などとの連携・強化
 - ① 多機関協働による相談支援体制の連携強化
 - ② 地域住民との連携による相談支援体制の構築
 - ③ 新施設（豊寿園）による相談支援拠点の整備
- (3) 気軽に相談できる受け入れ環境の整備
 - ① 社協内相談支援体制の整備

II 新たな福祉サービスを開発、展開します

B ニーズを抱える高齢者や障がい者の生活を支援するサービスの開発

- (1) 日常生活を営む上での必要な支援を行う生活サポート事業の展開
 - ① その人の生活を支える住民型有償サービスの立上げ支援
 - ② 生活圏域ごとの第2層生活支援コーディネーターの配置
 - ③ 住民との連携による認知症SOS声かけ模擬訓練の開催

④ 認知症高齢者や家族、地域住民の支援を目指したオレンジカフェの充実

(2) 住民の権利を継続的にサポートする権利擁護事業の展開

① 成年後見制度の理解と利用支援に向けたサポートの充実

(3) 障がい者の社会生活の基盤づくりと日常生活サービスの展開

① 障がい者（児）の在宅における日常生活支援サービスの展開

C 介護事業などを活かした、地域に必要とされるサービスの展開

(1) 地域のニーズに応じた新たな高齢者福祉サービスの展開

① 訪問介護事業所による有料サービス事業の立ち上げ（平成30年度開始予定）準備

(2) 地域と連携する拠点の機能強化

① 地域にとって身近なデイサービスを目指した介護の専門職によるサロン等への講師派遣

② 尊厳を大切にしたい生きがいづくり活動や地域交流の推進

(3) 介護予防プログラムの充実による日常生活支援総合事業の推進

① 高齢者が自立した日常生活を送るための介護予防プログラムの充実

III 生きがいにつながる福祉活動とボランティア活動を応援します

D 地域の社会資源を活用した高齢者・障がい者の生きがいづくり

(1) 高齢者・障がい者が交流できる地域行事の企画・支援

① 寄り合いの場（サロン）活動の充実と強化

(2) 特技や能力を地域活動で発揮できる取組の推進

① 生きがい活動の充実（豊寿園）

E ボランティア・市民活動センター機能の強化

(1) ボランティア人材の発掘につながる企画の充実

① ボラカフェの開催による若い世代の人材育成と発掘

Ⅳ地域福祉のネットワークを広げます

F 地域課題解決に向けてつなげられる地域の人材（リーダー）づくり

- （１）福祉課題の解決につながる専門的な知識を身につけることができる講座の開催・支援

① 地域福祉の多職種対象の研修会の開催

② ニーズを抱えた住民に対する相談調整を行う住民マネージャーの育成

（２）地域に存在する社会資源の発掘と人材バンクの構築

① 地域支え合いスタッフ養成研修の開催

G 見守り体制や災害対応ができる住民参画の地域福祉ネットワークづくり

（１）地域住民が集まる場と機会の充実

① 第3次中津市地域福祉活動計画の実践に向けた地区への支援

② 地域と一体となった防災訓練等の実施による防災意識の高揚

（２）広域（15地区単位）のネットワークと小地域ネットワークづくり

① 地域福祉ネットワーク協議会の立ち上げ支援

② ネットワークにつながる見守り活動の推進

③ 被災者支援ネットワークの強化

（３）地域の活動や資源に関する情報収集・発信・共有の充実

① 地域の活動や資源を発信する広報活動の強化

V効果的・効率的な経営基盤（組織・人材・財政）の確立

（組織に関すること）

H 災害時の地域ニーズに対応できる組織体制づくり

- （１）災害時に職員が迅速に動くためのマニュアル作成

I 多様なニーズに対応するための職員間の連携・情報共有の強化

（１）職員間の連携を図るための会議等の開催

J 住民の代表である役員と職員が一体的に事業運営できる仕組みづくり

（１）役員と職員が互いの役割・業務の理解と認識を深める取組みの実施

（人材育成に関すること）

K 地域に信頼される職員を目指す職場環境の改善

（１）職員のメンタルヘルスケアの充実

① 衛生委員会の追加設置（沖代・豊寿園・本耶馬溪・山国）

L 福祉の専門職集団としての意識醸成のための研修体系の確立

（１）職員としての基礎力向上を目的とした研修の充実

① 基礎力向上を目的とした研修会（全職員対象）の開催

（財源に関すること）

M 地域福祉事業に有効活用できる自主財源を確保するために多様な取り組みの実施

（１）社会福祉協議会会員制度の拡充

① 地域の支え合いを深める会員制度への理解を図るための社協活動の広報強化

（２）地域還元に向けた収益の見込める新たな取り組みの実施

① 特養待機者の早期入荘に繋がる効果的な入所対策の取り組み

② 介護報酬改定による介護人材の処遇改善と財政収支バランスの確保（やすらぎ荘）

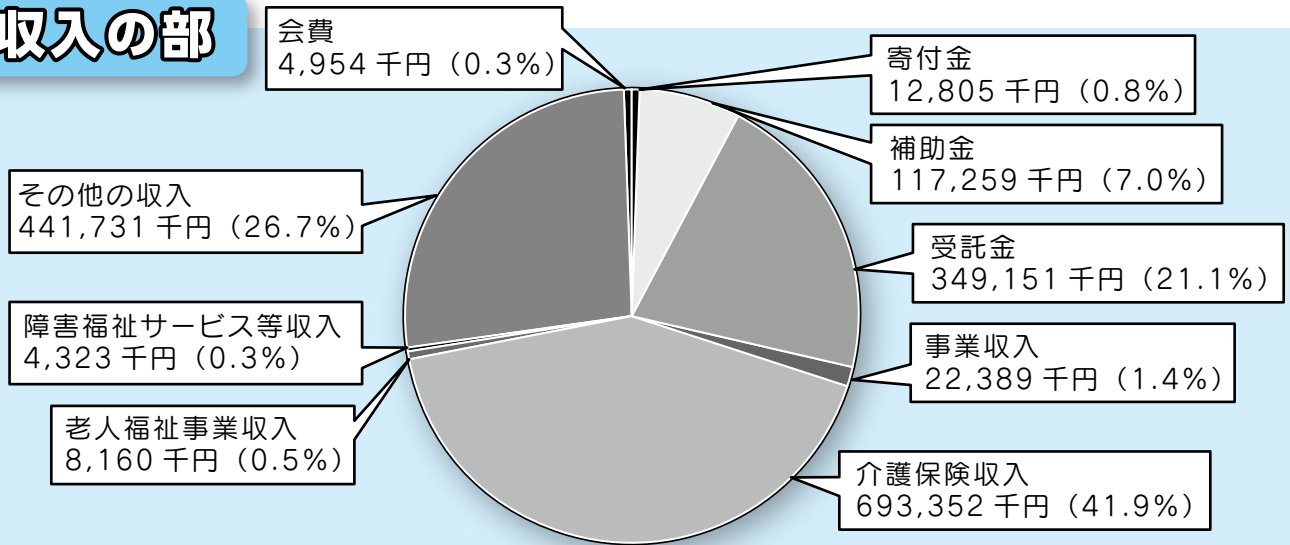
N 地域に密着した地域福祉事業運営方針と収支管理体制が一体となった経営体制の確立

（１）迅速かつ的確な判断ができる「収支管理体制」の確立

① PDCAサイクルを活用した経営会議の開催による健全運営

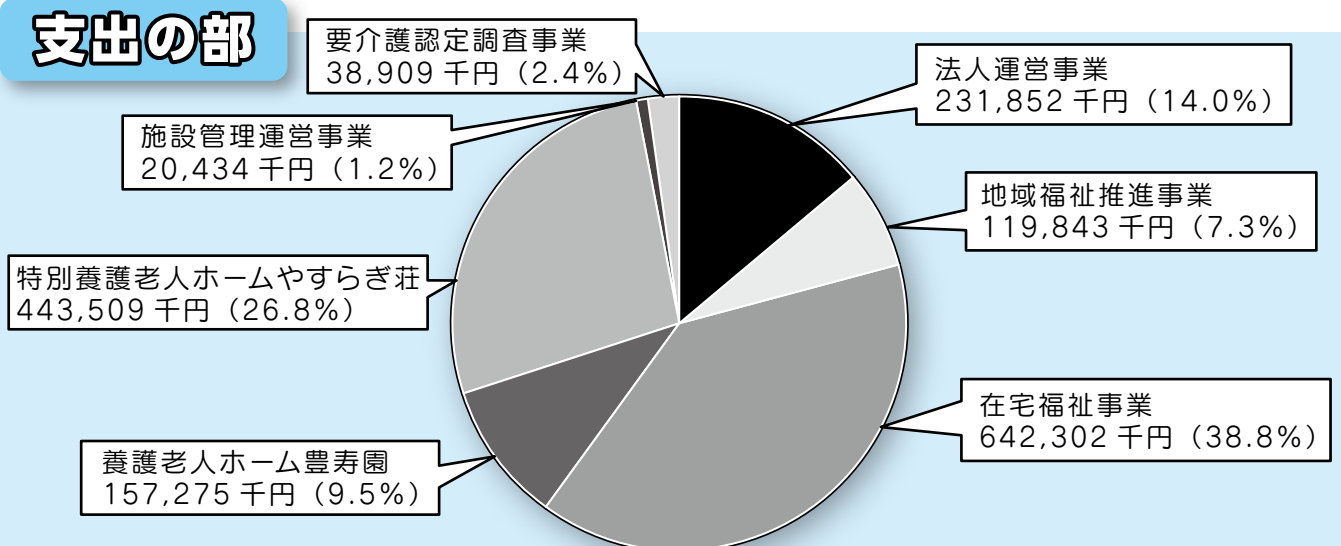
平成29 年度 当初予算額：1,654,124千円

収入の部



会 費	社協一般会費、特別会費	介 護 保 険 収 入	在宅介護や施設介護による収入
寄 付 金	香典返し、個人・団体からの一般寄付、物品寄付	障 害 福 祉 サ ー ビ ス 収 入	障がい者の在宅福祉サービスにかかわる事業収入及び利用料収入
補 助 金	市からの補助金収入	老人福祉事業収入	措置事業における事業収入
受 託 金	市や大分県社協からの受託事業の収入	そ の 他 の 収 入	預金利息、その他の活動収入

支出の部



法 人 運 営 事 業	法人の管理運営費	や す ら ぎ 荘	特別養護老人ホームの運営
地域福祉推進事業	地域福祉ネットワーク支援、各種相談援助事業、広報啓発	豊 寿 園	養護老人ホーム豊寿園の運営
在 宅 福 祉 事 業	デイサービス、ホームヘルプ、訪問入浴、居宅介護支援、障がい福祉サービスなど	施設管理運営事業	教育福祉センター、生活支援ハウス、児童館、児童クラブ、その他施設管理
		要介護認定調査事業	介護保険の認定調査業務

寄付金品について

市民皆様のあたたかい
ご芳志に感謝申し上げます

※平成二十九年一月四日から
五月十五日までの受付分を掲載しています。

香典返し

中津	鷲尾	金久	宮久	井上	小川	久留見	合田	黒土	才林	山本	金丸	工本	調子	下原	寺上	武内	山本	藤川	河野	佐藤	松本	荒木	大池	清田	大田	系井	恵良	岩尾	浅田	横山	字村	吉田	為末
登美子	靖幸	力子	新二	康二	昌勝	洋治	恵子	充子	久子	淳子	一彦	サ子	映子	喜代子	ト子	雅尚	ス子	孝六	邦憲	泰海	春子	草子	初子	文昭	輝和	芳男	昭子	幸子	英一	三根	初美	清均	英則
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	
敏明	睦治	睦治	弘吉	ハ子	繁利	千恵子	晴海	新太郎	角洲昭子	多美子	信儀	今利行	萬生	敏行	マリ	清	貢	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	ス子	福原信子
北門通り	下宮永	中央町	定留	鍋島	沖代町	伊藤田	永添	永添	上宮永	東京都大田区	加来	金手	今津	小祝	牛神町	沖代町	大貞	加来	東浜	片端町	永添	鍋島	田尻	鍋島	加来	殿町	牛神	中殿	東浜	永添	伊藤田	田尻	大新田
五万円	三万円	十万円	十万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	五万円

小倉隆子	金高公範	武藤伸子	城崎淳子	白川治子	長谷川隆子	古川千恵子	三光京子	奥永代子	山本誠二	山本誠一	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次	山本修次
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	(故)	
彰義	ヒサコ	川端初音	陽一	昭江	昭江	昭江	節生	ヤチヨ	國雄	八ツヨ	楠木ヤス子	綿二	陽子	純三	清子	ハル子	勇夫	愛美	英子	二四男	次男	嘉久	ヨシエ	古田たみ子	敏子	紀子	隆雄	ハツ子	博隆	義孝	義孝	
仲代町	塩町	上宮永	小祝本町	大悟法	大悟法	永添	下深水	佐知	諫山	西株	田口	諫山	諫山	白木	上深水	上株	森山	小袋	田口	田口	東谷	東谷	東谷	跡田	多志田	下屋形	東谷	冠石野	西谷	西谷	西谷	
二万円	十万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	

一般寄付

藤	大	河	甲	山	舞	横	坂	平	財	木	樂	柴	立	後	長	中	井	長	井	長
野	坊	野	斐	国	弓	山	川	内	津	下	村	田	縣	花	藤	上	野	上	野	上
哲	仲	七	好	治	芳	直	久	眞	貞	和	長	初	千	義	智	弥	精	三	雄	尾
治	義	上	廣	孝	子	和	子	治	男	彦	男	彦	彦	子	治	博	二	子	一	子
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故	(故
仲	辰	九	夕	等	榮	子	美	篤	美	浩	子	緊	芳	八	マ	富	吉	綾	子	子
子	夫	一	ツ	子	子	子	孝	美	孝	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
金吉	宮園	深馬	山移	大島	中摩	中摩	守実	守実	守実	守実	守実	守実	守実	藤野木	藤野木	藤野木	藤野木	古野	中摩	長尾野
金一封	三万円	五万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	五万円	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封	金一封

一般寄付品

◆中津	◆三光	◆弁護士法人 清源法律事務所 様	◆本耶馬溪	◆河野	◆山国	◆矢幡
経済クラブ (会長 仲浩) 様			又い子 様			了用 様
100,000円		金一封	20,000円			10,000円

◆中津市立緑ヶ丘中学校生徒会様	電動ベッド一台
◆中津市立中津中学校生徒会様	電動ベッド一台
◆音楽あそびの会様	楽器一式
■三光	
◆築城滋様	紙芝居舞台
倉迫喜世子様	ギフトカード
◆イオン九州株式会社様	ギフトカード
イオン三光店様	(幸せの黄色いレシートキャンペーン)
■本耶馬溪	
◆今仁カズエ様	介護用品

※掲載内容については寄付者ご本人の意思確認により掲載
させていただきます。

中津市社協の総合相談専用電話です

☎ 0979-26-1237

(月～金 8:30～17:15)

わたしたちはそれぞれさまざまな生活環境で暮らしており、困りごと一人ひとり違います。
「どこに、だれに、相談したらよいかわからない」という時に、一人で抱え込まずに
社協「くらしの総合相談窓口」にご相談ください。解決に向けて一緒に考えていきます。
ご本人からだけでなく、ご家族や周りの方からのご相談も受け付けています。

例えば・・・

「生活が苦しい」「病気や障がいなどで日常生活に不便がある」
「人間関係に悩んでいる」「何かやってみたいけど、何をしたら
良いかわからない」「将来が不安」「仕事になかなか就けない」
「身寄りがなくて不安」「相談できる人がいない」・・・など



きくぞうが
聴くぞう!

中津市地域包括支援センター社協より



認知症支援に関するお知らせ



※平成29年度 オレンジカフェのご案内※

オレンジカフェとは、認知症の人や介護している家族、認知症に関心のある方等が、ゆったりとした気持ちでお話したり相談したりできる場所（カフェ）のことです。どこのカフェでも参加自由です。お飲み物を用意して、お待ちしております。 【参加費】100円 【開所時間】13時～15時30分

開催日	会 場	開催日	会 場
6/18(日)	デイサービスセンター山国	11/18(土)	やすらぎ荘デイルーム
7/21(金)	本耶馬溪公民館	12/17(日)	デイサービスセンター山国
8/17(木)	三光福祉保健センター	1/19(金)	本耶馬溪公民館
8/19(土)	やすらぎ荘デイルーム	2/15(木)	三光福祉保健センター
9/17(日)	デイサービスセンター山国	2/17(土)	やすらぎ荘デイルーム
10/20(金)	本耶馬溪公民館	3/18(日)	デイサービスセンター山国
11/16(木)	三光福祉保健センター		

※オレンジ座談会を開催しませんか?※

三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国地区のサロンや地域の集まりで認知症について勉強したいというご希望がありましたら、ふるかわメディカルクリニック院長 古川医師が講話をさせていただきます。

【開催できる日】木曜日・午後（それ以外は要相談）【参加費】無料 【参加人数】10～20名位
座談会開催を希望される方は下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】☎43-5390 認知症地域支援推進員：河野(かわの)

お知らせコーナー①

中津市ボランティア・市民活動センターからのお知らせ

『夏のボランティア体験月間』開催！

今年も、中津市内の福祉施設や地域で活動しているボランティア団体の協力により、『平成 29 年度夏のボランティア体験月間』が実施されます。この夏、ボランティア活動を通じて人とひととの出会いをしてみませんか？きっと思い出に残る夏になると思います！！



ボランティアの方からの声！

- ・何か人の役に立ちたかったから
- ・将来の夢が見えてくるから
- ・学校で経験する事ができない貴重な体験ができて良かった

夏のボランティアに関するお問い合わせ

【対 象 者】 ボランティア活動に興味のある方
 【日 時】 平成 29 年 7 月 21 日～8 月 31 日の間
 【受付期間】 平成 29 年 7 月 1 日～随時
 【問い合わせ・申し込み】
 中津市ボランティア・市民活動センター TEL：23-2095
 担 当：渡邊

障がい児長期休暇支援事業「さんぽ」ボランティア大募集！！

「さんぽ」は中津市内に住む、小学 1 年生から高校 3 年生までの障がいのある子どもたちとボランティアとの交流の場です。この夏みんなで楽しい時間を作りませんか？



対 象：高校生以上の方

開催日：平成 29 年 7 月 24 日（月）～8 月 22 日（火）
 ※ 土・日・8 月 11 日～8 月 16 日を除く。

活動時間：9：00～16：00（お弁当付き）

活動内容：子ども達の見守り、楽しく一緒に遊ぶなど

<お申込み・お問い合わせ>

中津市社会福祉協議会 地域福祉課
 （中津市教育福祉センター内）

TEL：23-2095

FAX：24-7682

担 当：大田黒・小野

介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）及び実務者研修（介護福祉士国家試験の実技が免除される）の受講費用を助成します！！

地域の福祉の充実を図るため、中津市社会福祉協議会が運営する介護保険事業所で働くことを条件に、介護職員初任者研修及び実務者研修に必要な費用を助成します。

【平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに終了する研修が対象です】

募集期間 平成 29 年 6 月 1 日（木）～平成 30 年 1 月 31 日（水）
募集人数 3 名
助成要件 資格取得後に、中津市社会福祉協議会が運営する介護保険事業所で勤務できる方（特別養護老人ホームやすらぎ荘やヘルパーステーション、デイサービスセンター）
助成費用 上限 60,000 円（研修受講料のみ。テキスト代及び交通費等は対象外）
研 修 等 介護職員初任者研修又は実務者研修を受講し資格取得すること。
申込み方法 申込書と履歴書を提出してください。（中津市社協備え付け）
 申し込み後、随時面接をいたします。
お問合せ先 中津市社会福祉協議会 在宅福祉課
 TEL 27-7715（担当：岩下）



お知らせコーナー②

平成29年度 住民型有償サービス「支え合いスタッフ養成研修」のお知らせ

受講者募集中!

中津市社協では、「支え合う地域づくり」の活動の広がりをめざし、住民型有償サービスの担い手を養成しています。地域の中で住民同士が支え合う活動に参加することでやりがい生まれ、毎日の生活が活性化して地域活動から離れていた方が参加するきっかけにも繋がっています。

【Aコース】2日間

- 日時：平成29年7月4日（火）、5日（水）
13：30～16：00
- 会場：中津下毛教育会館（大字加来）
- 申込締切：平成29年6月30日（金）

【Bコース】2日間

- 日時：平成29年8月23日（水）、24日（木）
13：30～16：00
- 会場：南部公民館（京町）
- 申込締切：平成29年8月18日（金）

■内容：コミュニケーションについて、認知症について、身体介護・生活援助について 等

■対象者：生活支援サービスを中心とした住民同士による支え合い活動へ関心のある方、
この講座への参加が初めての方

■申込・お問合せ先（事前に申込みをお願いします。）

中津市社会福祉協議会 地域福祉課（TEL：23-2095）

申込用紙は社会福祉協議会に設置しています。ホームページにも掲載しています。



シリーズ

“すてきな”
ちいきつと
(地域人)
Vol.32

もみじ通りグループ “めじろの家” 代表 高橋 悦子 さん



如水校区の上如水地区に、民家を利用した地域サロン「めじろの家」があります。毎週水曜日に開所しているサロンで、現在8名のボランティアスタッフにより運営されており、今年の6月で9年目を迎えます。「ここで食べる昼食はおいしいよ！」参加者の一人が言うと、話題は次回の献立に。「みんな今年はフキ食べた？食べてないならフキ料理にしよう」と、みんなで和やかに話しながら決まっています。昼食はボランティアの方々の手作りで、食材も外の畑で採れたものを中心に使っています。取り組む内容も様々で、買い物に出かけたり、月に1回は近くの保育園に行ってお子さんと交流を深めています。「小規模多機能的な所がいいところ」と話す代表の高橋さん。アットホームな雰囲気のめじろの家では、今日もみんなの笑顔が溢れています。



4月より新しい部署での仕事をしていますが、長年してきた内容とはまた違うことをしているので緊張、困惑、刺激のある毎日をすごしております。ながく一つのことを続ける大変さをみにしみる毎日を過ごしていた以前と、新しいことへのチャレンジ

をしていく大変さを感じている今。これまで新しいことに挑戦していくことを苦手とし敬遠しがちでしたが、チャレンジしていくことの大切さを知ることができたこのきっかけに今では感謝しています。人生はチャレンジをしていき成長する、継続していき力となる。いずれも簡単なことではありませんが、これから成長と力を実に付けられるよう頑張ろうと改めて思うようになりました。（O.K.）

《表紙》地域福祉講座

3月に地域福祉講座を開催しました。講師に、ご近所福祉クリエイターの酒井 保氏をお招きし、「ホンモノの支え・合い」の5つのポイントとして、①「支え合い」の本質を理解し、「支えられる」の学習をすすめる ②「助けて！」が言えないことを理解する ③「豊かさ」の意味を共有する ④自分の「出来る！」を主張する ⑤自分の「出来ない！」を表現するなどを踏まえ分り易くお話いただきました。

参加者の皆さんは「支えるだけでなく支えられることについて、改めて考えさせられた」、「今後、支援する立場・される立場を考えながら活動していきたい」など、違う視点で物事を見れたという意見が多数聞かれ、参加者の皆さんに新たな気づきを実感いただける講座となりました。